

平成31年3月29日

野洲市民病院整備事業の現状と今後の取組及び課題について

野洲市民病院整備事業は、現在、2021年野洲駅南口前での開院に向けて建物等の実施設計を進めるとともに、新年度予算も可決され、今年7月からの野洲病院の施設を利用しての市立の病院開院準備を進めています。

しかしながら、昨年12月に訴訟の提起、野洲病院における医師不足等に起因する業績の悪化が判明し対応が必要な状況となり、医師会を交えた野洲病院との協議や議会特別委員会、評価委員会等における協議等を行い事業を継続しています。

1. これまでの経過

- ・ 訴訟の提起により事業継続に対する影響を検証
 - 3つの選択肢（①事業継続、②裁判結果判明まで事業休止、③事業中止）を示し、関係機関（野洲病院、市議会、医師会、自治連合会等）と情報共有、協議を行う。
 - ⇒ 市としては、事業に違法性、不当性は一切ないと考えており、多くの市民や医師会等からの期待に応えるためにも、訴訟のリスクは存在するものの、「事業の継続」を選択することが最善であると判断した。
- ・ 事業承継に向けた野洲病院の経営健全化
 - ⇒ 医師会からの支援と、病院職員一丸となった経営改善の取り組みを野洲病院が対応する。
- ・ 医師の確保
 - ⇒ 当初、7月の市立病院で想定する22名に対して、常勤医師が12名の見込みから、滋賀医大学長、病院長及び関係する診療科教授と面談を数回行い事業への理解、支援を求めたことにより3月現在で19名の常勤医師が確保でき、今後、さらなる確保が見込める状況へと好転している。

2. 現状の主な取組

野洲病院からの事業承継

職員採用内定・医師確保

施設の実施設計

訴訟対応

新年度予算確保

・一般会計 : 1,041,358 千円

・病院事業会計 : 2,804,364 千円

《内訳》

収益的支出 : 2,396,885 千円

資本的支出 : 407,479 千円

3. 新年度の主な取組

4月職員採用し野洲病院へ派遣 医師4名 看護師6名

病院事業管理者の選任

7月職員採用 (H31.3.28時点)

医師:15名 看護師:97名 その他:110名

合計:222名

7月市立病院開院 (開設許可、施設基準届等)

施設の実施設計完了 (6月末)

施設の建設工事発注 (実施設計完了後、速やかに実施)

4. 課題

➤ 野洲病院からの事業承継に当たっての財務管理

➤ 野洲病院の市有地の抵当権解除

→ 野洲病院による経営改善の確実な実行

3月末で短期借入金100,000千円を返済

6月末の借入金返済に向けたさらなる取組みが必要

➤ 訴訟・不正確な報道による諸々の負の影響の回避

(職員採用、建設発注等への影響)

→ これまでどおり事業の状況について、最新の情報を適切に公開する。